

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.56

2008年1月1日

発行
協会事務局
編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



整備士ドラマの実現を

全国自動車大学校・整備専門学校協会会長
関東工業自動車大学校理事長

中川 裕之

新年おめでとうございます。

今年は、JAMCAにとって、生き残りをかけた試練の年になると思います。「若者たちに夢と希望を、そして生きる力を」というコンセプトのもと、私たちは、ひたすらに、教育の質の向上を目指し、努力を重ねてきました。

二級自動車整備士の合格率がJAMCA会員校の間でも格差があったことに対しては、統一模擬試験を実施し、教育のノウハウを会員間でオープンにすることにより、高校生はJAMCAの会員校であるならばどこへ進学しても、ほぼ100%の合格が保証されるようになりました。

一級と自動車大学校を実現

一級自動車整備士が実現した際にも、一級対策委員会を設置し、学校間の情報交換、予想問題集の作成と会員校への配布、模範カリキュラムの公開、統一模試の実施などで、85%という合格率を実現しました。

昨年度からは、弱肉強食の競争社会において力強く生き抜く力を学生に身につけさせるべく、「ソーシャル検定」を考案、実施し、公立高校からも受験させたいという問い合わせを受けるなど、高い評価を受けています。今後、更に充実を図り、豊かな人間性と力強く生き抜く力の両立の実現を目指していきます。

このように、各学校個別の利益を超越し、一致協力してひたすら教育



の質の向上を目指すJAMCAの姿勢を、国土交通省、文部科学省に評価いただき、専門学校の中で我々JAMCAだけが、「自動車大学校」を名乗ることが許されたのです。

しかし一方では、学生募集に苦しむ大学が、建学の精神を無視した無試験や、本来の教育とは無関係な、例えば不動産宅建主任資格をオプションにするような、なりふり構わぬ学生募集に走り、専門学校の進学者減少に深刻な影響を与えています。

若者へ新しいイメージ提案

高等教育の選択において、学生が将来の人生を考慮し、その自己実現の手段として学校選択をするのではなく、「とにかく大学へ」というような一時的、ブランド的選択が行われていることに、私は大きな憤りを感じます。同時に、こうした価値観が社会の大勢を占めている現実を、改めて認識した上で対応していかなければならないのです。

それには、かねてからの構想ですが、テレビで自動車整備士をテーマ

にしたドラマを実現すること以外にないと思います。現代の若者の価値観に基づいた、新しい自動車整備士のイメージを提案するのです。

昨年最後の理事会で発足した「TVドラマ推進委員会」を中心に、JAMCAの基本事業として実現を目指したいと思います。しかし、テレビ業界への素人の参入は、極めて慎重でなければならないと思います。マスコミ、広告業界に精通している自動車メーカーの協力がなくては実現は不可能であると思います。

自動車産業界の緊急の課題である自動車整備士の需要・供給のアンバランスの解決と、その質の確保と向上には、高校生がJAMCA会員校への進学に興味を持ち、JAMCAが質の高い教育を実践することに尽きるわけで、自動車メーカーとJAMCAは、文字通り運命共同体であると思います。基幹産業である自動車産業界の発展に向け、自動車メーカーとJAMCAが連携協力することが、「若者に夢と希望を与え」、懸念される若者の車離れに歯止めをかけ、「若者の車に対する興味の再起」につながるものと確信します。

CONTENTS

2面	退学者を減らすための学生指導
3面	我が校自慢
4・5面	一級整備士課程関連の疑問点 ——国土交通省へ質問——
6面	協会トピックス・アイドルタイム
7面	地区通信・卒業生活躍
8面	私の教材活用・編集後記